

第6回 原子力委員会臨時会議議事録

1. 日 時 1996年1月26日（金）10：30～

2. 場 所 委員会会議室

3. 議 題

- (1) 日本原燃・六ヶ所再処理工場の建設計画の変更について
- (2) 福島県、新潟県、福井県各知事の提言「今後の原子力政策の進め方についての提言」について
- (3) その他

4. 審議事項

- (1) 日本原燃・六ヶ所再処理工場の建設計画の変更について

標記の件について、日本原燃株式会社から、設計変更内容、再処理工場の竣工時期並びに工事費について報告があった。

引き続き、電気事業連合会から、六ヶ所再処理工場の建設計画が妥当と判断したことについて報告があった。

これに対し、委員から、

- ・原子力発電所と異なる点も多く、経験も少ないことから、国内外の再処理施設における特に運転開始段階での不具合の情報、運転経験等を十分活用すべき
- ・再処理工場に対する理解を深めるためモックアップや模型の公開等を考えるべき

等の意見があった。

- (2) 福島県、新潟県、福井県各知事の提言「今後の原子力政策の進め方についての提言」について

標記の件について、事務局から報告があった。これに対し、委員から、

- ・国の政策とそれが決められた背景等について、各地方自治体の関心の度合いに応じて、良く理解してもらうことが重要

等の意見があった。

- (3) 以上の議論を踏まえ、委員より

- ・今後の原子力政策を考える上で、六ヶ所再処理工場の建設計画の変更、三県知事提言は非常に重要な問題である。
- ・三県知事の提言については、国民の合意を形成していくに当たり、原子力委員会をはじめ国が果たすべき役割の重要性を強く述べておられ

るものと認識され、積極的に対応していく必要がある。

- ・もんじゅの事故を踏まえて、原子力委員会として、今後の対応を考えていく上で、まず地元の実情に触れ、生の声を伺うことが重要である。
- ・六ヶ所再処理工場の建設計画の変更は、原子力委員会の立場からは、正式な事業者からの申請があって判断していくものではあるが、国の核燃料リサイクル計画の要となる施設の計画変更であり、重要な問題と認識し、フォローアップしていく必要がある。
- ・プルトニウム需給見通しに関しては、今回の六ヶ所再処理工場の建設計画の変更、もんじゅの事故の今後に及ぼす影響など注意深く検討し、柔軟に対応していく必要がある。

等の意見が出された。